社会学文章表現研究Ⅱ

科目ナンバリング　SOC-302
選択　　2単位

阪本　博志

1. 授業の概要（ねらい）

この授業は、本学科のディプロマポリシーのうち、「調査・研究の成果をもとに論理的な主張を展開できる」をねらいとするものである。

「論理的な主張を展開できる」ことは、卒業研究において重要であるのはもちろんのこと、大学卒業後においても重要な力である。この授業では、文章の書き方からレポートや論文の構成にいたる方法を受講者・教員がいっしょに学びあうとともに、実際にその方法をもちいることを試みる。

授業の具体的な進行は、次のとおりである。

Ⅰでは、梅棹忠夫『知的生産の技術』鶴見俊輔『文章心得帖』を読む。受講者には、毎回の講読シートへの記入とその内容を授業中に発言することが求められる。この2冊を読み終えたあと、1冊目の新書の書評を執筆する。執筆にあたっては、添削指導をおこなう。こうして作成したレポートを提出する。

Ⅱでは、『文章心得帖』の続きを読んだあと、本多勝一『日本語の作文技術』を読む。受講者には、毎回の講読シートへの記入とその内容を授業中に発言することが求められる。そのうえで、レポート（書評）を執筆する。執筆にあたっては、添削指導をおこなう。こうして作成したレポートを提出する。

2. 授業の到達目標

①個人的な意見と根拠に基づく知識との違いを理解したうえで、自分の考えを表明することができる。
②文献を正しく引用できる力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

平常点（講読シートの提出）　60%
期末レポート　40%

4. 教科書・参考文献

教科書
鶴見俊輔　『文章心得帖』　ちくま学芸文庫
本多勝一　『〈新版〉日本語の作文技術』　朝日文庫

5. 準備学修の内容

下記「各回の授業内容」で指定されている分量ずつテキストを読み、そのポイント等を講読シートに記入する。

6. その他履修上の注意事項

①受講人数等によって、内容や進度の調整をすることがある。
②レポートの作成時には、各受講生に対し添削指導をする。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション
【第2回】　『文章心得帖』(1)
【第3回】　『文章心得帖』(2)
【第4回】　『文章心得帖』(3)
【第5回】　『〈新版〉日本語の作文技術』第1章
【第6回】　『〈新版〉日本語の作文技術』第2章
【第7回】　『〈新版〉日本語の作文技術』第3章
【第8回】　『〈新版〉日本語の作文技術』第4章(1)
【第9回】　『〈新版〉日本語の作文技術』第4章(2)
【第10回】　『〈新版〉日本語の作文技術』第5章・第6章(1)
【第11回】　『〈新版〉日本語の作文技術』第6章(2)・第7章
【第12回】　『〈新版〉日本語の作文技術』第8章
【第13回】　『〈新版〉日本語の作文技術』第9章
【第14回】　レポートの作成と添削
【第15回】　これまでのまとめ等（オンライン）